

<b>授業科目名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
<b>時間割名</b>	人間教育学ゼミナール（応用）(35112)		
<b>時間割担当</b>	竹田治美		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	4 必修 選択
<b>曜日・時限</b>	水・5		

### 授業の目標・概要

卒業研究に向けて論文や制作活動を行う。自らの専門分野についての研究をまとめ、形にすることによって、自らの人間教育学に関する学びの集大成とする。

### 学習の到達目標

人間教育学に関わるテーマを広く設定することができる。卒業研究を通して、卒業後教育者として、社会人として柔軟な思考力と行動力を養うことを目指す。

### 授業方法・形式

- ・卒業論文の作成のプロセスを指導することが目的であるが、論理的な思考力、行動力などを重視する。具体的なテーマに基づき、学生各自が考え、調べてまとめ、最終的に発表するまでを主体的に行う。
- ・毎回、全体指導と個別指導の二形式で行う。
- ・途中で中間発表を行う。

### 授業計画

- 1．論文とは何か
- 2．テーマの設定
- 3．論文の問題の設定。
- 4．文献・雑誌論文の検索
- 5．資料とデータの収集
- 6．模範論文の例
- 7．参考文献リストを作成
- 8．序章と注と参考文献
- 9．問題分析
- 10．添削
- 11．発表
- 12．ディスカッション
- 13．ディスカッション
- 14．論文のチェック
- 15．論文発表
- 16．スケジュールの確認
- 17．前期提出物の修正・確認
- 18．ディスカッション
- 19．発表
- 20．卒業論文について
- 21．卒業論文について
- 22．卒業論文について
- 23．論文発表
- 24．卒業論文について
- 25．卒業論文について
- 26．論文の確認修正
- 27．発表会に向けて、準備を行う
- 28．ディスカッション
- 29．論文チェック
- 30．論文提出

### 成績評価の基準

卒業論文に向けた積極的な取り組み、卒業論文の内容も、発表会のプレゼンテーションを総合的に評価する。

### 準備学習・復習及び授

資料・文献調査、データ収集

### 履修上のアドバイス及

演習では自分の課題、質問、意見を積極的に発言すること、自ら課題を取り込む姿勢を期待する。

### 教材・教科書

特になし。随時必要な資料など配布する。

### 参考書

特になし